

大阪・関西万博の開催にむけて

■大阪・関西万博について

(テーマ)

いのち輝く未来社会のデザイン

(開催期間)

令和 7 (2025) 年 4 月 13 日 (日) から令和 7 (2025) 年 10 月 13 日 (月・祝) までの 184 日間

■障がい福祉分野の取組 (例)

① 来阪外国人に向けたヘルプマークの配布

- ・万博を契機に来阪した外国人が障がい等を理由に援助や配慮を必要とする場合に、適切な援助等を受けられるよう、ヘルプマークを配布し、支援が必要な外国人に利用してもらうことでスムーズなサポートにつなげる。

② 大阪ウィークへの参加

- ・万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」のもと、地域共生社会の実現を万博のレガシーとするため、大阪市福祉局との共催で、万博会場において、地域活動を含め子どもや高齢者、障がい者を支える大阪の福祉団体の取組等を PR する。

【大阪ウィーク～秋～】「OSAKA から地域共生の未来をつくる」プロジェクト
(令和 7 年 9 月 14 日 (日)、15 日 (月・祝))

- ・万博会場等において、障がいのある人、ない人が混在するチームが作品を発表する機会を創出し、障がいのあるアーティスト、伴走支援者を発掘するとともに、障がいのある人が様々な立ち位置で参画する舞台芸術分野の PR を行う。

【大阪ウィーク～秋～】「(仮称) OSAKA JAPAN SDGs Forum (SDGs 全国フォーラム 2025)」
(令和 7 年 9 月 5 日 (金))

- ・障がいのあるアーティストの作品を万博会場等で展示し作品を国内外に発信するとともに、「現代アート」として適正に評価される作品であることを発信する。

【大阪ウィーク～夏～】「(仮称) 2025 大阪・関西万博に向けた障がいのあるアーティストによる現代アート発信事業」
(令和 7 年 7 月 26 日 (土)、27 日 (日))